

広報



No. 182

昭和63年 8月15日

発行・編集 国見町企画課

※※※※※
おもな内容
※※※※※

国保特集	2~3
健康世帯を表彰	4
愛の献血に100人	5
下水道シリーズ②	6
ふるさとの文化財	7
おしらせ	8~9
公民館だより	10~11
わだい	12



'88
8月

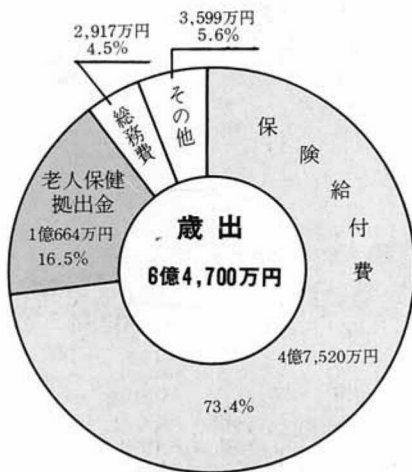
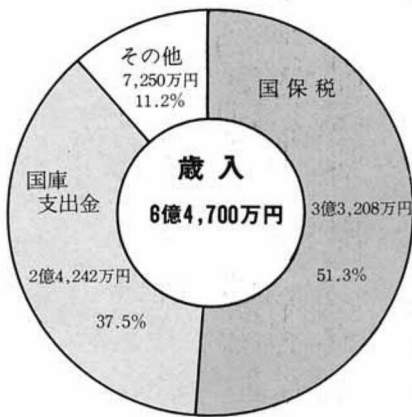
消防車にのったよ

7月8日、藤田保育所(天野英子所長心得)で、消防車と救急車に体験搭乗しました。消防車に乗った子どもたちは大よろこび。サイレンの音にびっくりしたり、ヘルメットをかぶって大よろこびしたり。このあと、防火意識高揚のまんが映画も鑑賞しました。

使 い ま し ょ う

国見町の支払額 5億6,753万円

一世帯当たり 32万円
一人当たり 10万円



昭和六十三年年度の国見町国民健康保険特別会計当初予算は、総額六億四千七百万円で、前年度に比べ三%の伸びにとどまりました。

これは、国保の被保険者が減少しているためであり、医療費そのものは増加の一途をたどっています。

一人十万円の医療費

今年度の国保特別会計に占める医療費給付の割合は、歳出総額の九〇%に当たる五億八千八百四十四万円で、昨年度と比べて一・四%の増となっています。これを月割りにすると、四千八百四十八万円の医療費給付となり、年間一世帯当たり約三十二万円、一人当たりでは約十万円となります。

前年度の医療費給付実績は、一世帯当たり約三十二万円(負担していた国保税は約十七万七千円)、一人当たりでは約十万円(同じく国保税は約五万七千円)となります。

今年度の医療費給付予算と、前年度の給付実績は同額となっていますが、これは、被用者保

険への移行などにより被保険者が前年度との当初対比で二・四%の減少を見込んでいるためであり、医療費の伸びが止まったわけではありません。

先ごろ国保中央会がまとめた昭和六十二年の国保医療費の状況によると、総額で八兆一十億円(前年度より八・〇%増)となり、初めて八兆円台に乗りました。この内訳は、一般・退職一が四兆八千五百億円(前年度より六・八%増)、「老人」が三兆二千七百億円(前年度より九・七%増)となっています。

国保の老人人口の割合は一三%なので、この一三%の人口が国保医療費の四〇%を占めている格好となっています。

当町国保の医療費も、年々増加を続け、国保財政の窮迫と国保税の引上げに苦慮している現状です。

今や成人病中心の時代であって、「自らの健康は自ら守る」「自分の病氣は最終的には自ら治す」というセルフ・ケアが期待されます。

一人ひとりの健康づくりの実践と、適正な受診によって、医療費上昇にストップをかけることができます。

みんなで医療費を大切に使いましょう。

医療費を大切に

昭和62年度国保医療費の実態

昭和63年度 国保税税率

区分	課税割合	税率	前年度税率	対比
所得割	40%	5.79%	5.16%	112.2%
資産割	10%	36.10%	37.24%	96.9%
被保険者均等割	35%	1人当たり 22,664円	1人当たり 22,091円	102.6%
世帯別平等割	15%	1世帯当たり 30,056円	1世帯当たり 30,107円	99.8%

国保税算定例(4人家族の場合)

・所得額	1,550,000円
・課税標準額	1,270,000円
・固定資産税	55,000円 (平均額)
I. 所得割	73,533円 (1,270,000円 × $\frac{5.79}{100}$)
II. 資産割	19,855円 (55,000円 × $\frac{36.10}{100}$)
III. 均等割	90,656円 (22,664円 × 4人)
IV. 平等割	30,056円 (1世帯当たり30,056円)
計	214,100円 (国保税決定年税額)

※最高課税限度額 400,000円

昭和六十三年年度の国保税は、三億二千五百八万二千円で、前年に比べ、八百七十七万二千円の増、率にして二・八%の伸びとなりました。

国保税は、みなさんが安心して治療を受けられるための大切な財源です。

この財源を大切に使うことはもちろん、納期内に保険税を納められるようご協力をお願いします。

国保税率決まる

※国保税

一世帯当たり

一七九、九一七円

一人当たり

五八、八八二円

Ⅰ 腹八分目を守る

食べすぎは肥満を招き、肥満は動脈硬化に結びつきやすい。

Ⅱ 野菜を十分に取る

野菜には、血圧を安定させるカリウムのほか、繊維など成人病予防効果の高い成分が多い。

Ⅲ 食塩を減らす
食塩は高血圧の最大の敵。1日10g以下を目標に。

成人病を防ぐ日常生活10か条

④ 動物性脂肪をとりすぎない

動物性脂肪は、血液中のコレステロールを上昇させる。

⑤ お酒・タバコは控えめに

お酒は日本酒換算で1日1合を目安に。タバコはできればやめる。



⑥ ストレスをためない

精神的な緊張は血圧を高め、心臓の負担を大きくする。

Ⅶ 適度な運動を
適度な運動は血圧を下げ、動脈硬化を予防し、ストレスも解消する。

Ⅷ 睡眠を十分に
睡眠は1日の正しい生活リズムをつくる基本。睡眠不足は老化を早める。

Ⅸ 肥満を避ける
太りすぎは、心臓に負担をかけるなど成人病を“育てる”温床。

Ⅹ 定期的な健康診断を
病気の早期発見、また、老化の進行度のチェックなどに欠かせない。

国民健康世帯を表彰

昭和六十二年度中、一度も診療を受けなかった健康世帯の表彰式が、八月十日福祉センターで行われました。

この日表彰を受けたのは六十三世帯で、この世帯に共通していることは、常に健康に対する自覚と、自分に適した健康法をもち、実践しているということです。

一人ひとりが「自分の健康は自分で守る」習慣を身につけたものです。

次に表彰された健康世帯をご紹介します。

健康世帯紹介

敬称略

- 十一年連続世帯(一世帯)
 - ▽菅野秋雄(内谷東)
- 十年連続世帯(二世帯)
 - ▽吉田タカ(貝田)
- 八年連続世帯(一世帯)

▽引地幸一(駅前)

●五年連続世帯(二世帯)

▽大竹竹夫(本町)

●四年連続世帯(四世帯)

▽松浦信(滝山) ▽田中ハツ(第一) ▽佐野正光(第九) ▽上沢芳正(大木戸)

●三年連続世帯(三世帯)

- ▽菊地あさ子(大町南) ▽佐藤次郎(山崎小館) ▽鴨田常雄(小坂)

●三年連続世帯(七世帯)

- ▽大森忠治郎(宮町南) ▽豊田操(源宗山西) ▽舟山晃徳(大町南) ▽高樫行雄(本町) ▽佐藤勝伊(石母田東) ▽穴戸且郎(山崎小館) ▽菊地清(源宗山東) ▽仲野周助(泉田中) ▽原田清治(太田川) ▽関本東(板橋) ▽高橋栄子(太田川) ▽阿部幸雄(泉田)

下) ▽佐藤トライ(第三)

- ▽武田富夫(第三) ▽永山正明(貝田) ▽鈴木喜作(貝田) ▽松浦伍郎(築館)

●一年世帯(三十五世帯)

- ▽浅野幸次郎(山崎北) ▽齋藤長一(石母田西) ▽櫻福寿(錦町) ▽菊地吉伴(石母田原) ▽八巻光夫(源宗山東) ▽鈴木次男(町東) ▽佐久間幸子(駅前) ▽石川好一(錦町) ▽小野貞夫(宮町南)

- ▽菊地忠光(宮東) ▽幕田一雄(宮東) ▽佐々木二郎(石母田西) ▽八島高明(滝山) ▽瀬戸健二郎(駅前) ▽井砂のり枝(山崎小館) ▽高橋茂(源宗山西) ▽後藤カツ子(源宗山北) ▽佐藤勝男(泉田中) ▽鈴木フミ(板橋)

- ▽鴨田忠二(内谷東) ▽引地茂太郎(徳江北) ▽齋藤幸平(第三) ▽佐久間衛(第十二) ▽佐藤定司(第四) ▽佐藤昭次(第四) ▽菊地とし子(徳江北) ▽穴戸利夫(第七) ▽菊地義春(第十) ▽佐藤義光(貝田) ▽大沼重郎(貝田) ▽後藤勝夫(高城) ▽阿部岑生(大木戸) ▽岩城久人(川内) ▽玉手正造(中部) ▽井砂浩一(北部)

国民健康保険法施行五十周年記念 健康老人を表彰

今年、国民健康保険法施行五十周年に当たり、その記念として昭和六十二年年度中、無受診であった健康な老人の皆さんの表彰式が、八月十日福祉センターで行われました。表彰された健康老人の皆さんは次のとおりです。

(敬称略)

- ▽後藤マツ(錦町) ▽秋元シモ(錦町) ▽新妻準(錦町) ▽後藤ヨチ(大町南) ▽平館誠(大町北) ▽平館きよ子(大町北) ▽横山辰雄(大町北) ▽佐藤丹藏(宮町北) ▽吾妻寅吉(鶯町) ▽市川忠蔵(石母田表) ▽松浦從子(石母田原) ▽松浦武市(石母田原) ▽高橋市三郎(山崎北) ▽高橋竹治(山崎北) ▽浅野ユイ(滝山) ▽吉田ハル(山崎館) ▽吉田マツノ(山崎館) ▽瀬戸寿郎(上野) ▽早田進(小坂) ▽内村スイ(太田川) ▽高原ツル(太田川) ▽樋口孝吉(内谷東) ▽佐久間エツ(第二) ▽佐久間八郎(第二) ▽吾妻サタヨ(第三) ▽齋藤

- リン(第四) ▽齋藤イネ(徳江北) ▽齋藤トメヨ(徳江北) ▽佐藤充作(第七) ▽村上カネ(第九) ▽後藤伴七(第九) ▽佐久間次郎(第十一) ▽高橋義雄(第十二) ▽齋藤金三郎(貝田) ▽松田タケヨ(貝田) ▽菊地チカ(貝田) ▽遠藤フク(光明寺) ▽忍いじを(大木戸) ▽野田長四郎(並柳) ▽瀬戸周蔵(中部) ▽鈴木カツイ(川内) ▽鈴木フサノ(川内)

国民健康指導員に 松浦郁子さん



松浦 郁子さん

昭和六十三年八月から、町の国民健康指導員に松浦郁子さんが大木戸字館三一(三十五歳)が委嘱されました。国民健康保険の健康指導を担当しているため、国民健康加入されている家庭を訪問した場合は、ご協力をお願いいたします。

愛の献血に 100人

七月二十六日、県の移動採血車が来町しました。今回は、小坂小学校前、国見精機前、役場前、清水製作所前で献血活動を行い、百名(申し込み者は百十九人)の方々にご協力をいただきました。

献血ありがとうございます

ございました

・印の方は四〇〇cc協力者です。
(順不同・敬称略)

(一般協力)

仲野 博行 後藤 征男
藤 伸樹 若林 利子
横山 タキ 一條 善助
小出 秀雄 後藤 興志男
佐藤 洋一 大内 隆子
大内 一郎 黒田 勝美
藤 紀子 橋 勝美

阿部 登志子 阿部 洋一
尾形 家長 阿部 節子
氏 形 広治 横山 正幸
(朽木織維)
森木 千恵子 菊地 久子
森木 弘子 朽木 哲也
佐藤 由美江 萩野 豊
遠藤 真理子 五十嵐 清夫
(小坂小学校)
(清水製作所)
菊田 保

佐藤 幸弘 瀬野 次男
佐久間 清市 本多 洋一
渡辺 一仁 大波 努
後藤 徳良 小暮 功
武田 光男 齋藤 勉
奥地 すみえ 藤 勉
(国見精機)
半沢 雅美 金子 兼司
曳地 智徳 齋藤 信之
本田 政江 後藤 好美
梅谷 春隆 渡辺 育
(福梁製作所)
片平 恵美子 佐藤 富藏
片平 忠夫 清水 貞夫
高橋 守山 内水 美夫
矢目 富士子 山内 克仁
吉田 昌二 高丸 正吉
佐藤 勝雄 高丸 慎二
(郵便局)
佐藤 利夫 橋本 二
横山 庄市 赤坂 栄子

高橋 テツ子 朽木 好秋
穂月 辰也 大森 忠治郎
佐久間 ツヤ子 岡崎 長市
佐藤 順子 曳地 正美
大和田 紀夫
(国見町農協)
安孫子 正菊 地 信七
星野 美和
(国見町役場)
吉田 義勝 鈴木 哲也
佐藤 敦子 引地 由則
穴戸 浩寿 羽根 洋一
佐久間 茂 菊地 弘美
須田 善治 佐藤 克成
阿部 裕子 吉田 恵江
赤坂 真畜 武田 友江
吉田 光男 佐山 朝子
佐藤 富夫 中浦 昭一
谷津 富夫

次回の献血車来町予定

9月6日(火)

9:00~11:30 沢屋酒店前
12:00~13:00 睦商會前
14:00~15:00 国見町農協本所前
15:15~16:00 藤田小学校前
16:15~17:00 県北中学校前

福島県知事選挙 参議院福島県選出議員補欠選挙

投票日 9月4日(日) 午前7時~午後6時

不在者投票 知事選 8月15日~9月3日まで
参院補選 8月17日~9月3日まで

※くわしいことは、役場内選挙
管理委員会におたずねください

~みんなそろって
投票しましょう~

①②③④
献血するのは今回で三回目です。自分の健康状態をチェックする意味でも、年に一回は献血しています。今日は夫婦で来ました。以外に早く終わり、痛みも感じませんでしたね。今後とも体調が良ければ続けて協力します。



横山タキさん (51歳)
小坂字小坂58

下水道シリーズ② 年内に工事に着工 公共下水道事業

清潔で衛生的な街づくりをめざした、下水道事業もようやく年内(十一月頃)着工の予定となりました。

今年度の工事箇所は、役場通り(県道)の一部と藤田字町裏地内の一部を予定しておりますが、これから委託します実施設計完了後に決定されることとなります。

◎公共汚水ますと排水設備

◎公共汚水ます

家庭や事業所の汚水を下水道に流し、また清掃や検査のために使うのが「公共汚水ます」です。

この「公共汚水ます」は、下水道工事の際、町は申請により一宅地に一個を官民境界から一メートルの範囲内に設置するのが通例となっております。

「公共汚水ます」は、一度設置しますと簡単には移動できませんので、申請のときは十分検討

討して位置を決めていただくこととなります。

◎排水設備

町で行う下水道工事が終り、下水管や公共汚水ますが布設されますと、家庭や事業所の汚水を流すには、宅地や通路にそれぞれ排水設備をつくっていただくこととなります。

これは、台所、便所、浴室などの排水を公共下水道につながるものです。

この排水設備は、公共下水道の供用開始の公示後、個人負担により設置していただくことになり、工事は町が指定する工事店により行うこととなります。

◎下水道建設費の財源

下水道工事には巨額の費用がかかります。

この費用は、国費(国の補助金)と地方費(一般町費・県費・地方費・受益者負担金)を財

源としてあてられます。

《公共下水道建設費の財源》



◎受益者負担金

下水道が設置されると汚水の排除ができるだけでなく、周辺の生活環境が改善されます。したがって下水道のない地域に比べると、その土地の利用価値が上がることとなります。

もし下水道の建設費をすべて税金等でまかなうとすれば、下水道のない地域の方々の間に著しい負担の不公平を招くこととなります。

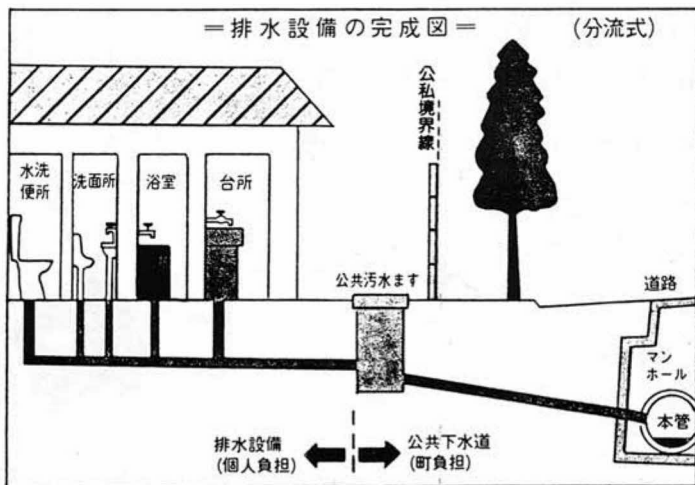
このため、下水道が整備されることにより、利益を受ける方に、建設費の一部を負担していただき、その財源にあてるため受益の範囲内で賦課する負担金です。

※問い合わせ

役場下水道課 ☎ 85-2111

(内線261)

公共汚水ますと排水設備



ふるさとの文化財 ⑤3

小坂地内の西根上堰跡

菊池利雄

旧小坂村地内の字板橋と馬場前・塚田の境界に沿って、西根上堰の古い遺構がJR東北線と竜宮院川との間に、約九〇メートルにわたって残存している。



小坂地内の旧西根上堰跡略図(小坂村地籍図によって作図)

現在の西根上堰は、藤田駅構内にある小坂踏切から南に、東北線の東側を約二四〇メートルほど平行して流れている。これは明治二〇年(一八八七)、日本鉄道株式会社による東北線敷設時以降の付替による新堰であり、それ以前は上図のような形で、

西根上堰による小坂地内のかんがい地は、延享四年(一七四七)六月の「小坂村様子大概帳」(国見町史)によれば「二、上堰、是者福島領湯野村穴原申処より、掛上川水上より用水二取申候。此堰水当村田方へ、四町歩程二用水二用申候」とあり、竜宮院川沿いの字板橋・北窪地内の水田を潤しており、この村はかんがい地が少ないため、番水の間隔は長く、常水地とされ、田んぼの水がひいたときは洞口をあけて灌水し、かければ止めるという慣行が定着していた。

現在のタンゲは約八〇メートルほど下流、鉄道の東側に移り、西根上堰より竜宮院川(正流は中沢川北)堰水が落ち、藤田・中目・塚野目や徳江地内に広がる下流地水田のかんがいにあてられており、その時に発する音から、通称「ザーザー」とも呼ばれている。この小坂地内の通水をやめて、百年の歳月を経過した旧堰の現況は、草木の繁茂にまかせ一部は埋め立てられるなどしているが、往時の景観が良く残されている。近世の始め上杉藩によって開き、その後、伊達郡西根の開發に大きく寄与し恩恵をこうむった西根堰が、全長にわたって舗装されてしまった現在、土堀による原形が残されている数少ない遺構であり、今後史跡として保存構築を検討する必要がある。

現在の西根上堰は、藤田駅構内にある小坂踏切から南に、東北線の東側を約二四〇メートルほど平行して流れている。これは明治二〇年(一八八七)、日本鉄道株式会社による東北線敷設時以降の付替による新堰であり、それ以前は上図のような形で、

現在のタンゲは約八〇メートルほど下流、鉄道の東側に移り、西根上堰より竜宮院川(正流は中沢川北)堰水が落ち、藤田・中目・塚野目や徳江地内に広がる下流地水田のかんがいにあてられており、その時に発する音から、通称「ザーザー」とも呼ばれている。この小坂地内の通水をやめて、百年の歳月を経過した旧堰の現況は、草木の繁茂にまかせ一部は埋め立てられるなどしているが、往時の景観が良く残されている。近世の始め上杉藩によって開き、その後、伊達郡西根の開發に大きく寄与し恩恵をこうむった西根堰が、全長にわたって舗装されてしまった現在、土堀による原形が残されている数少ない遺構であり、今後史跡として保存構築を検討する必要がある。

現在のタンゲは約八〇メートルほど下流、鉄道の東側に移り、西根上堰より竜宮院川(正流は中沢川北)堰水が落ち、藤田・中目・塚野目や徳江地内に広がる下流地水田のかんがいにあてられており、その時に発する音から、通称「ザーザー」とも呼ばれている。この小坂地内の通水をやめて、百年の歳月を経過した旧堰の現況は、草木の繁茂にまかせ一部は埋め立てられるなどしているが、往時の景観が良く残されている。近世の始め上杉藩によって開き、その後、伊達郡西根の開發に大きく寄与し恩恵をこうむった西根堰が、全長にわたって舗装されてしまった現在、土堀による原形が残されている数少ない遺構であり、今後史跡として保存構築を検討する必要がある。

〔本稿は七月十四日、安藤善三郎氏の実家内、西根堰土地改良区の村上(一)理事、石渡信知参事と筆者による現地調査時の取材による。〕

昭和三十九年納税功労者として、わが町の納税貯蓄組合連合会会長である佐久間正寛さん(塚野目字北塚)が、栄えある知事感謝状を受けました。贈呈式は八月四日県庁正庁で行われ、県内の功労者や優良団体三十人に友田副知事から一人一人感謝状が手渡されました。佐久間さんは、昭和四十一年から納税貯蓄組合長として長い間、納税内完納と納税思想の向上に努めてこられ、これらの努

昭和三十九年納税功労者として、わが町の納税貯蓄組合連合会会長である佐久間正寛さん(塚野目字北塚)が、栄えある知事感謝状を受けました。贈呈式は八月四日県庁正庁で行われ、県内の功労者や優良団体三十人に友田副知事から一人一人感謝状が手渡されました。佐久間さんは、昭和四十一年から納税貯蓄組合長として長い間、納税内完納と納税思想の向上に努めてこられ、これらの努

友田副知事から感謝状の伝達を受ける佐久間さん

友田副知事から感謝状の伝達を受ける佐久間さん

友田副知事から感謝状の伝達を受ける佐久間さん

友田副知事から感謝状の伝達を受ける佐久間さん

友田副知事から感謝状の伝達を受ける佐久間さん

友田副知事から感謝状の伝達を受ける佐久間さん

友田副知事から感謝状の伝達を受ける佐久間さん

友田副知事から感謝状の伝達を受ける佐久間さん

友田副知事から感謝状の伝達を受ける佐久間さん

友田副知事から感謝状の伝達を受ける佐久間さん

友田副知事から感謝状の伝達を受ける佐久間さん

友田副知事から感謝状の伝達を受ける佐久間さん

友田副知事から感謝状の伝達を受ける佐久間さん

友田副知事から感謝状の伝達を受ける佐久間さん

友田副知事から感謝状の伝達を受ける佐久間さん

友田副知事から感謝状の伝達を受ける佐久間さん

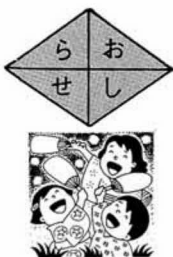
友田副知事から感謝状の伝達を受ける佐久間さん

友田副知事から感謝状の伝達を受ける佐久間さん

友田副知事から感謝状の伝達を受ける佐久間さん

友田副知事から感謝状の伝達を受ける佐久間さん

友田副知事から感謝状の伝達を受ける佐久間さん



お題は「晴」
昭和六十四年歌会始

宮内庁では昭和六十四年歌会始のお題及び詠進歌の詠進要領を次のとおり発表しました。

一、お題

二、詠進要領

- (1) 自作の歌で一人一首とし、未発表のもの。
- (2) 用紙は半紙(和紙)とし、毛筆で自書する。
- (3) 病氣又は身体障害のため自書することができない場合は、他人が代筆しても差し支えありませんが、その場合は、別紙に代筆の理由、代筆者の住所及び氏名を書いて詠進歌に添える。
- (4) 書式は、半紙を横長に用い右半分にお題と歌、左半分に郵便番号、住所、氏名、生年月日及び職業を縦書きで書いてください。

三、詠進の期間

9月1日～10月11日まで(郵送の場合は、10月11日までの消印有効)

四、あて先

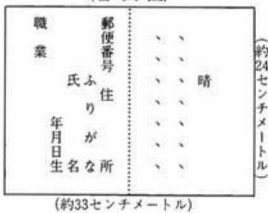
〒100 東京都千代田区千代田

一番一号 宮内庁
封筒に「詠進歌」と書き添えてください。

※その他疑問があれば、直接、

宮内庁式部職あてに、郵便番号、住所、氏名を書き、返信用切手をはった封筒を添えて九月末日までにお問い合わせください。

(書式図)



公立藤田病院組合

職員を募集
(大学卒程度)



昭和六十四年度採用の公立藤田病院組合職員(大学卒程度)採用候補者試験を次により行

ます。

一、試験職種及び採用予定人員

一般事務 若干名

二、受験資格

昭和40年4月2日から昭和42年4月1日までに生まれたる者で、昭和64年3月までに大学卒業見込みの者。

三、試験の期日及び場所

昭和63年10月2日(日)

午前9時から受付

福島県自治会館(福島市中町8番2号)

二次試験については、合格者通知します。

四、受験手続及び受付期間

(一)申込用紙は公立藤田総合病院で交付します。

(二)申込用紙に必要事項を記入して公立藤田総合病院に提出してください。受験票を受領したときは、最近6ヶ月以内に撮影した本人の写真(上半身、脱帽、正面向き、縦6cm×横4.5cm)一枚をはって受験当日に必ず持参してください。

(三)受付期間は8月1日から8月31日まで(執務時間中に限りです)郵送の場合には、8月27日までの消印有効。

※詳しいことは、公立藤田総合病院庶務課(☎八五二一)に

おたずねください。

国見町勤労者互助会

融資制度のご案内

町では、勤労者の福利厚生を増進と生活の安定を願ひ、融資制度を行っています。

この制度は、労働組合の組織されていない商店や、事業所などに勤務する人を対象に、医療費、冠婚葬祭費、教育費、住宅の増改築等の資金を必要とする場合に融資します。

借入れ申込みのできる方は、次の三つの条件のいずれにも該当することが必要です。

①「国見町勤労者互助会」の会員で、入会後一カ月以上経過

	生活資金	教育資金	住宅資金
融資額	50万円以内	100万円以内	500万円以内
返済期間	5年以内	10年以内	25年以内
利率	年7.14%	年6.64%	年5.50%~6.48%
保証料	年0.73%	年0.60%	年0.18%
保証人	1名以上	不要	2名以上
担保	不要	不要	不動産

事務所移転

NTT 福島電報電話局

②満二十歳以上の方
③事業所(商店も含む)の従業員として二年以上継続して勤務しており、これからも引き続き勤務しようとする方
※詳しいことは、役場産業課へお問い合わせください。

NTT福島電報電話局では、

お客さまの立場に立つたベストサービス運動を行っています。さらに便利で楽しい窓口へ改善するため、大町局営業窓口を第八寿ビル(福島市新町三十一)に移転し、八月一日から十二月中旬まで業務を行います。

なお、午後四時以降の電話料金のお支払いは、従来通り大町局三階の料金サービス課で承ります。

改装中の仮お客様窓口ご案内



戸籍の窓口

(7月受付分)

出生おめでとうござい

氏名	保護者	出生地
明誠	吉田孝夫	落部
日香	大沼剛	館崎
智哉	佐野周	山崎
瑞穂	野坂正	田原
隆宏	藤原高	西原
愛智	木村直	館内
瞬	高橋幸	北内
優貴	高橋秀	北西
真香	佐野孝	北西
香奈	瀬川志	北西
竜一	野野井	北西

結婚おめでとうござい

氏名	出生地
芳博	落部
丸美	北内
久間伸	北内
久間洋	北内
久間幸	北内
久間田	北内
佐羽	北内


おくやみ申し上げます

氏名	年齢	出生地
高梨	94	第十
石藤	94	柳田
佐川	56	田川
藤木	90	田川
石佐	16	太板

○物事の善悪を判断できる力、欲望を抑える自制心などを身につけさせることにより、社会生活に必要な基本的ルールを確実に守ることができる子どもに育てよう。

○少年の思春期の悩みや子育てに関する悩みなどは、なかなか

少年の非行と家出



九月は、夏休みの解放感が抜けきらず、少年が非行や家出に走りやすいつきです。特に少年の家出は非行に陥ったり、犯罪の被害に遭いやすく大変危険なものです。少年のいる家庭においては、次のことに注意し、少年を健全に育てましょう。

〔保護者の方へ〕

か他人に打ちあけられずにもりで悩んでいることが多いものです。このような時は、学校の先生や警察などの専門家に相談ください。警察では、少年相談室やヤング・テレフォン・コーナーを設けて、悩みや困りごとのある少年や保護者の相談に応じています。(ヤングテレフォンコーナー) ☎二一四一四一

農業共済組合 職員募集



伊達地方農業共済組合では、昭和六十四年度採用予定の職員を次のとおり募集します。

一、採用予定人員
二名(国見町、桑折町出身又は在住の者各町1名)

- 二、受験資格
昭和40年4月2日以降に生まれ、昭和64年3月までに高等学校以上を卒業又は卒業見込みの者
- 三、試験の方法
(一)筆記試験：高校卒業程度の国語・数学・社会・作文の4科目
(二)面接試験：筆記試験合格者について行います
- 四、試験の期日
筆記試験：昭和63年10月2日
面接試験：昭和63年10月15日
五、受験の申込
昭和63年9月12日～21日まで(郵送の場合は、9月21日までの消印があるもの)

※詳しいことは、伊達地方農業共済組合(保原町大字大泉字大地内一〇四、☎七五三一六)へお問い合わせください。

町田交差点 交通信号機廃止

長い間、山崎・小坂地区の皆さんに親しまれてきました町田交差点の信号機が、七月二十九日をもって廃止となりました。これからは左図の交通方法になりますので、交通ルールを守り、安全運転に心掛けましょう。



人口と世帯

8月1日現在(前月比)7月中のうごき

男	5,790人 (+13)	転入	18人
女	6,256人 (+10)	転出	5人
計	12,046人 (+23)	出生	15人
世帯数	2,918戸 (+7)	死亡	5人

8月	葉月(はづき)	9月	長月(ながつき)
23日(火)	処暑	1日(木)	防災の日
27日(土)	満月	7日(水)	白露
30日(火)	防災週間	9日(金)	救急の日
31日(水)	二百十日	15日(木)	敬老の日

心配ごと相談日

場所：役場二階相談室(東側入口からお入り下さい)
時間：9時～12時
こまったことや、相談ごとがありましたら、お気軽にご相談下さい。秘密は絶対に守ります。
〔相談員〕
8月25日(木) 樋口 清三・高橋 恵子
9月5日(月) 曳地 善作・佐藤 節子
9月14日(水) 佐久間 巖・斎藤 洋子

公民館だより

仲間づくり教室

キャンプ研修会

7月23日～25日

～靈山こどもの村～

「少年仲間づくり教室」のメイン行事のキャンプ研修会が、七月二十三日から二十五日までの三日間、靈山こどもの村キャンプ場で開催されました。

靈山はあいにくの雨でしたが、雨に負けるものかと全員元気いっぱい分担された作業に取りかかりました。雨は強くなるばかり、やむを得ずテント設置をため、こどもの村の常設テントを借りてのキャンプに変更しました。



▲食事の準備も楽しみのひとつ

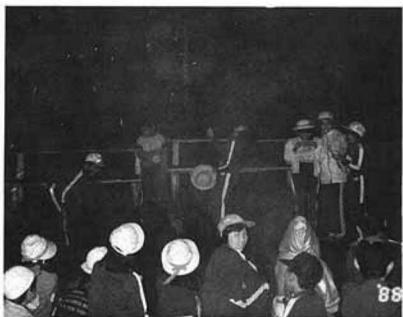
国見町公民館
☎85-2676
(有) 4156

生活用テントも決まり、早速昼食の準備にとりかかりました。米ときや包丁使いなど、いづれも慣れない手つきでしたが、お互いに助け合いながら作りましました。

二日目は六時起床。ラジオ体操で一日がスタート。予定していた靈山登山は雨のために中止し、児童館で歌、ゲーム遊びなどをしました。

夕食後、キャンプファイヤー。公民館長の神火ではじまり、キャンプソングを歌い、花火大会を行い、高く燃えあがる炎に友情を深めました。

キャンプ研修会を通じ、教室生は雨にうたれながらも、仲間とのふれあい、協調心、忍耐力



▲心に残ったキャンプファイヤー

を学びました。最後に、この研修会に雨にもかかわらず参加し、ご指導いただいた「サークルぼけっ」との皆さんの皆さん、ありがとうございました。

町内ウォークラリー

ふれあい教室

七月三日(日)午前九時より町内一周するウォークラリーが行われました。

小雨模様の天気でしたが、各グループごとに絵地図をもらって公民館をスタートし、途中の問題を解きながら楽しく歩きました。

お互いに協力し下級生を助けながら町のようすを学習し全ク



▲楽しかったウォークラリー

ループ元気にゴールしました。

誕生した

「阿津賀志 社交ダンス愛好会」

阿津賀志学級趣味のグループ「学習の一つとして行ってきた社交ダンスの学習会は、好評のうち七月四日をもって終了しましたが、希望者により十月まで継続して練習することに決まりました。

名称も、阿津賀志社交ダンス愛好会とし、三十六名をもって発足しました。

講師は引続き、井研のり枝さんにお願ひし、親切にいい指導で、ブルース、マンボ、ルンパなどの基本を楽しく和やかな雰囲気の中で練習しています。



▲いつもなごやかなダンス練習

伊達地方スポーツ大会

代表決まる

貝田スポーツクラブ

伊達地方スポーツ大会ソフトボール予選大会が、七月二十四日町民運動場、山崎運動公園で十七チームが参加して行われました。

大会は、代表権獲得のため、各チームとも練習を重ねてきたこともあり、どの試合とも熱戦の連続でした。

その結果、貝田スポーツクラブが優勝し、栄えある代表権を獲得しました。

九月四日に桑折町で開かれる伊達スポーツ大会での健闘を期待します。

なお成績は次のとおりです。

- 優勝 貝田スポーツクラブ
- 準優勝 源宗山クラブ
- 第三位 徳江北部クラブ

人形劇公演される

福島女子短大生

毎年恒例の人形劇公演を七月九日、午後一時から行いました。人形劇「ブレイメンのおんがくたい」などを子どもたちは熱心に觀賞し、そのあと短大生とい

っしょに体育館でゲーム遊びをしました。

福島女子短期大学児童文化研究部のおねえさんたちは、汗びっしょりになっての活躍で、子どもたちも最後まで楽しく過ごしました。



▲人形劇に子どもたちは大よろこび

新刊図書

二百冊購入!!

公民館ではこのほど、新刊図書を購入しました。

今回は、一般図書のほか科学の図書も数多く購入いたしました。

お気軽にご利用下さい。尚、現在母子の公民館活動指導者の方々の奉仕により図書の整理を行っておりますが、

未返還図書がかなりの数になっておりますので、借りている方はお返し下さるようお願い致します。



▲図書の整理に追われる指導者のみなさん

健康食を食卓へ

料理教室開講

本年度の料理教室が、七月九日(土)二十三名の学級生が参



▲料理教室開講

加して開講しました。

学級生は、来年二月まで八回にわたり樋口和賀子先生の指導のもと、四季折々の料理を実習することになっていきます。

実習の成果を、家庭の健康食として食卓にそえられ、笑顔がこぼれる楽しい食事となることでしょう。

国際化に向けて

英会話教室開講

公民館では、国際化時代に対応するため七月九日、紺野恵子さん(本町)を講師に英会話教室を開講しました。

視野をひろめ、世界の人々に目をつけるため、基礎的な言葉を用い、簡単な表現方法で質問したり、応答したり出来るようにすることを目標に来年三月まで十八回にわたり学習を行ないます。



▲英会話教室開講

トンボ返り

秋空に群れ飛ぶトンボ(蜻蛉)は、二億年以上もの昔から地球上に生息する原始的な昆虫で、古くは「あきつ」と呼ばれました。秋つ虫(秋の昆虫)を略した言葉です。

「トンボ」の語源については定説がありません。

「トンボ返り」は身体を空中で回転させる軽業で、もともとは奈良時代に始まる民俗芸能散楽の演技術の一つでした。



歌舞伎の立ち回りの「トンボ」もその流れで、主役にかかってゆく下回りの役者が投げ飛ばされる時トンボ返りをするのを「トンボを切る」といいます。

透明な二対の翅で勢よく飛んでいたトンボが、急に方向を後ろに変えたりするところからこの言葉が生まれました。飯田蛇笏の俳句「いくもどり 飛ばさそよがす あきつかな」は、そうしたトンボの生態を的確にとらえています。

また「急用で大阪へトンボ返りで行って来た」などのように、ある場所へ行ってしまうに決まるときにも使われます。いずれにしても、はるかな歴史を背負った表現といえるでしょう。

わ
だ
い



八巻藤七さん優勝

モーターバイク 安全運転競技会

去る七月七日、国見町シルバ
ー交通安全推進隊主催でバイク
の安全運転競技大会が、桑折町
の県北自動車教習所で開催され
ました。

競技に先立ち、藤田勝衛隊長
が「高齢者ドライバーの事故は



▲一本橋走行に挑戦

増加傾向にあり、安全運転をす
ることは自分の命を守るため
です」とあいさつ、続いて大川戸
柔折警察署長から激励を受け、
さっそく競技を開始しました。

競技は、スラロム、8の字
走行、一本橋走行などかなり高
度な技術を要するコースを、一
人三分の持ち時間で一周。審査
には桑折警察署員の方があたり、
会場はふんいきはまるで運転免
許の検定試験のようでした。三
十三名の参加者はやや緊張し、
悪戦苦闘しながらも最後まで真
険に競技に取り組みました。

競技終了後、参加者は自分の
運転技術の再確認と、安全運転
の意識高揚をはかりました。

入賞者は次のとおりでした。
優勝 八巻藤七さん(徳江北)
二位 谷津一男さん(大木戸)
三位 後藤博さん(高城)

福島のももを

全国にPR

「ミスピーチが来庁」

おいしい福島のももを全国に
PRする88ミスピーチが、七月
二十六日、役場を訪問しました。
訪問したミスピーチは、佐藤

智美さん(18) 福島女子短大、
長岡理香さん(18) 桜の聖母短
大、大橋暁恵さん(18) 桜の聖

母短大、阿部弘子さん(18) 桜
の聖母短大。今年で二十六代目
のミスピーチ十人のうちの四人
で、佐藤さんらは「甘く、おい
しい福島のももを全国にPRし
ます」と語っていました。

今後、ミスピーチは福島駅新
幹線ホームでの即売PRや、東
京・大阪班と仙台・北海道班に
分かれてPR活動を行います。

なお、八月十二日から十六日
までは、お盆の帰省客でにぎわ
う東北自動車道国見サービステ
リアでも活躍します。

「幼児を交通事故から守ろう」
と、藤田母の会では七月十五、
十八日の両日、福祉センターを
はじめ町内三ヶ所において、二



▲「福島のももを全国に」と語るミスピーチ

人形劇で呼びかけ

交通安全藤田母の会



▲熱心に人形劇に見入る子どもたち

歳から六歳までの幼児を対象に
手作りの交通安全人形劇をプレ
ゼントしました。

当日は、参加した三十八名の
幼児一人一人に信号機の色分け
などの体験学習も行い、交通安
全の意識高揚をはかりました。

「現在では、幼児に対する交
通安全教育は幼稚園や保育所な
どの組織的なものと同時に、子
どもと接している時間が一番長
い母親が、日常のしつけの一環
として継続的に行っていく必要
れば」と、会長の安田節子さん
はじめリーダーの皆さんは、今
後に意欲を燃やしていました。

にぎわった

納涼歩行者天国

町商工会青年部(岡崎長市部
主催)による納涼歩行者天国
長

が、八月六日午後四時から、町
中心部の旧四国道約二百六十
メートルを会場に開催されました。
当日はもちつき、スイカ割り、
腕すもう、ジャンケン大会の各
イベントの他、盆踊りも行われ
多くの人出でにぎわいました。
岡崎青年部長は「商店街、町
の活性化をめざし、今後も長く
続けていきたい」と抱負を語っ
ていました。



▲キョンシーも登場した納涼盆踊り

編集日記

7月31日海雨明け宣言。いよ
いよ夏本番。真っ黒に陽焼けし
た子どもたちを見かけます。広
報がみなさんのお手元が届く頃
は、子どもたちの夏休みも残す
ところわずか。宿題に追われ
ているのではないでしうか。そ
んな私も今、原稿のメ切りに追
われ、ねじり鉢巻です。(R)